

## World Travel Mart 2016 XMLスイッチソリューションは流通を変える！

### Topics1

#### Googleへの準備は終わっていますか？

SEO, SEM対策としてのGoogleだけではなく、総合的な旅行情報検索エンジンへの対応が必要となってきています。あらゆる予約のmomentsに対する「検索される用意」が最重要です。

### Topics3

#### XMLで旅行パーツをつなぎ合わせる！

XML(eXtended Mark-up Language)はコンピュータアプリケーション間を繋げる共通言語です。旅行会社対ホテル、ホテル対周辺施設予約など、もはやコンピュータアプリケーション会社はこれなくしてはお客様に満足されません。

### Topics2

#### Videoは経験を伝える最重要メディア

VR(バーチャルリアリティ)への対応を叫ぶ声も大きいですが、その前に誰にでもできる経験の共有手段としてVideoが有効です。ウェブサイトのみならず、Booking Engineへの組み込みも見られました。

### Topics4

日本のホテル会社はディストリビューションのガラパゴスチェーンホテルで取り組む以上は単純なブッキングエンジンベンダーを採用しては流通の世界に埋没し、チェーンの個別ホテルを販売することにしか繋がりません。チェーンである以上は総合的なマーケティング体制を持ちCRS化が必要です。

### <CLOUDIT EYE>

World Travel Martは総合旅行見本市として、旅行会社とターゲットディステーションにあるホテルが商談をする場所で、ITBとも同じ機能を持つ展示会です。しかし、ホテルと旅行代理店がオンライン化するためには、ITが必須となっており多くのIT会社も出展しています。B to CだけではなくB to Bの世界になってもITが無ければ、売ってくれる人はいるが現場のオペレーションは苦難の連続になります。

ですので、参加者の中では極めて異色ですが弊社は必ず見学するようにしており、そこで見聞きする最新の「Things To Do for Hotels」を見出しています。



今までロンドン是通过点的にしか滞在したことはなく、実は名所などにも訪問したことはありませんでした。

今回は少し時間を作り、ロンドンらしいところを経験してきました。

とは言ってもミュージカルですが・・・



このようにTravel Tech Theatreと名付けた会場で各社が自社事例を発表しています。

この他にもホテルのマーケティング業界団体であるHSMIAが別室でデジタルマーケティングのセミナーを開催していました。

無料なのが魅力です。

2016年11月15日

CLOUD IT, Inc. 2016

## Technology Trend

日本のホテル業界において、自社施設がチャンネルを管理する時には、管理する内容全てチャンネルマネージャの機能に依存しており、ホテルがその中身がわかっていないことが多い。しかし新たな海外チャンネルが登場した時に国内のチャンネルマネージャの機能制限によりビジネスの手間がかかることを人力でカバーしてしまってきた歴史がある。そこを共通化、標準化してきたのがOpen Travel AllianceやHotel Technology Next Generationである。国内ベンダーでもHTNGのスポンサーでありながら、この分野へ非協力的な企業もあるぐらいに、日本のホテル業界は周辺ITベンダーの勝手に動いていることを肝に銘じなければならない。

## Useful Figure<モバイルシフト: Google UK調べ>

- 66% 旅行計画のための価格情報の収集に利用
- 57% 旅行計画への体験できるものの情報収集に利用
- 55% 地図や行き方の調査
- 53% レビューや旅のブログを読むことに利用
- 48% 行き先の周辺情報収集に利用

## <注目会社>



中国国内ではチャンネルマネージャ、ブッキングエンジンなどで有名で、対グローバルチェーンに対してはOTA、旅行代理店とホテルCRS間のスイッチを担う会社として有名な会社でした。近年主戦場を北米に移し、北米で多数のエンジニアを採用し、トータルのホテルの客室流通に関するトップITベンダーとなりました。

ソリューションも整理され、日本国内では「ONE」というブッキングエンジンからメタサーチマネージメントまでを単館に提供するソリューションを販売するようです。

私の一押しは、北米でのトップエンジニア達を集結させているところです。

## <次回予告>

2月にはHEDNA SUMMER CONFERENCEレポートを企画しております。

弊社ウェブサイト ([www.cloudit.jp](http://www.cloudit.jp)) でも公開しております。